

直接的な原因に対する再発防止対策等

点検計画表不備への対応

- 点検計画表の修正（2010年6月末完了）
 - 島根原子力発電所2号機第16回定期検査（2010.12.28終了）については、修正した点検計画表を基に点検を実施済み
 - 島根原子力発電所1号機第29回定期検査（現在実施中）についても、修正した点検計画表を基にした点検を実施中

業務手順の改善・明確化，手順書の見直し

- 点検計画の作成・変更，工事仕様書の作成手順の見直し等，点検不備に至った業務手順の改善・明確化を実施
 - [主な対策]
 - ・「点検計画作成・運用手順書」の見直し
 - ・「工事業務管理手順書」の見直し
 - ・部品仕様に関する図書の整備 等
 - 直接的な原因の再発防止対策（21施策）は全て完了（2010年7月末）

その他の取り組み

- 点検計画表の継続的見直し

点検計画表における点検方法，点検頻度等について，機器の安全重要度，劣化要因を考慮して，より妥当性の高い内容に継続的に見直し

 - 点検計画表における点検方法，点検頻度等の継続的見直しを検討するワーキンググループを結成し，活動中
- 保守管理活動全体を管理する「統合型保全システム(EAM)」の活用
 - ・現在開発中のEAMにより，紙ベースで管理している膨大なデータをシステムで管理
 - ・「原子力強化プロジェクト」は，発電所と連携して業務プロセスの改善による更なる業務処理の正確性および効率性向上を検討，実施
 - 点検計画表見直しに伴う機能改良およびEAMへのデータ移行（2011.12：2号機完了，2012.10：1号機完了）
 - EAMの追加開発（2013.4完了）
 - 今後EAMに反映すべき課題が挙げれば，適宜反映していく。
- 点検時期を超過していた機器の健全性評価
 - 島根原子力発電所2号機162機器の全てについて健全性の確認を終了（2010.7.27）
 - 島根原子力発電所1号機349機器の全てについて健全性の確認を終了（2011.1.6）
- 保安規定変更命令への対応（完了）
 - 保安規定変更認可申請（2010.8.5），変更認可（2010.9.6）

根本的な原因に対する再発防止対策

原子力品質マネジメントシステムの充実

根本的な原因

不適合管理

不適合管理を適切，確実に行うための仕組みが不足していた。

マネジメント

規制要求事項の変更に速やかに対応してマネジメントできる仕組みが十分でなく適切な対応ができなかった。

- 不適合管理プロセスの改善

不適合管理が適切に行われ，不適合の判断が限られた箇所内で決定されること等がないよう，不適合管理プロセスを改善

 - 不適合管理を専任で行う担当を設置（2010.6.29）
 - <活動状況>
 - ・ 発電所員に対し，不適合管理の必要性や基準についての教育を実施（2010.7.29～2010.8.2，2011.11.2～2011.11.7，2012.11.28，11.29，12.4，12.5，2014.2.19，2.21，2.24，2.28，2015.3.13，3.16，3.17，3.20，2016.3.10，3.11，3.14，3.15，2017.3.10，3.13，3.15，3.17，2018.3.12，3.14，3.26，3.27，2019.2.20，2.22，2.25，2.27）
 - ・ 社外講師による品質保証講演会を開催（2010.9.16）
 - ・ 社外の専門家を招き，不適合判定検討会委員への専門教育を実施（2010.10.14）
 - ・ 不適合判定検討会委員への不適合判定に係る教育を実施（2010.12.22，2011.3.29～2011.3.31，2012.2.23～2012.2.24，2013.7.12，7.17，11.7，2014.3.12，12.10，2015.3.24，3.25，3.31，9.1，10.1，10.29，2016.3.24，3.25，3.30，2017.3.28，2019.3.28，3.29）
 - すべての不具合情報について検討し処置を決定する「不適合判定検討会」の運用を開始（2010.8.1）
 - <活動状況> 不適合と判定した事象を全て当社ホームページ上で公開*（2019.6.20最新版に更新）
 - ※：2019年2月の不適合1件の未公開を2019年5月に確認したため，不適合管理を行い，2019年6月7日に公開

- 原子力部門の業務運営の仕組み強化

保守管理に関する制度の変更等規制要求の変化に速やかに対応し，適切にマネジメントできる仕組みを強化

 - 原子力部門の課題を統括し，検査制度変更等に対応するための全体計画を策定する「原子力部門戦略会議」を設置（2010.7.27）
 - <活動状況> 第1回開催（2010.7.27）～第118回開催（2019.4.16）
 - 本社，発電所からなる「原子力安全情報検討会」を設置（H22.7.30）
 - <活動状況> 第1回開催（2010.8.13）～第101回開催（2019.6.28）
 - 統括機能の強化および責任体制の明確化のため，品質保証部門と修保部門の関係課を統括する部を新設（2010.9.7）し，あわせて総務課以外の課へ部（発電部，技術部）を新設（2011.3.1）

原子力安全文化醸成活動の推進

- 「報告する文化」および「常に問いかける姿勢」を中心とした安全文化醸成活動の充実・強化

従前からの安全文化醸成活動により，安全文化の醸成は全般的に進んでいるが，「報告する文化」および「常に問いかける姿勢」に不足がみられたため，これらを中心とした醸成活動をさらに充実・強化

 - 原子力部門以外のメンバーで構成する社長直属の組織「原子力強化プロジェクト」を設置（2010.6.29）
 - <活動状況>
 - ・ 発電所において職場話し合い研修を実施
 - 2019年度：テーマ「原子力事業に従事する者として，不適切行為を発生させないために自分たちはどう取り組むべきか」（2019.4～2019.6）
 - <参考>2010年度：3回実施，2011年度：2回実施，2012年度：1回実施，2013年度：1回実施，2014年度：1回実施，2015年度：1回実施，2016年度：1回実施，2017年度：1回実施，2018年度：1回実施
 - ・ 話し合い研修によりグループの行動基準を改めて策定・実践（2019.6.3～）
 - ・ 役員と発電所員の意見交換を実施（2019年度：6.3，6.19）
 - <参考>2010年度：8回実施，2011年度：6回実施，2012年度：6回実施，2013年度：7回実施，2014年度：6回実施，2015年度：6回実施，2016年度：6回実施，2017年度：6回実施，2018年度：8回実施
 - ・ 安全文化醸成研修会の開催
 - 2019年度：計画中
 - <参考>2010年度：3回実施，2011年度：2回実施，2012年度：2回実施，2013年度：2回実施，2014年度：1回実施，2015年度：1回実施，2016年度：2回実施，2017年度：2回実施，2018年度：1回実施
 - ・ 原子力部門関係者の情報交換の場となる社内SNS*（わいがやE-ねっと）を運用（2010.12.24～2014.12.31）
 - （※）幅広いコミュニケーションを取り合うことを目的としたコミュニティ型のWebサイト
- 地元の方々との対話活動の充実
 - <活動状況> 技術系社員による見学会対応（2010.7.8～），地元定例訪問への参加（2010.7.12～），地元行事への積極参加（2010.9.2～），地元意見の職場内共有（2010.9.21～）
- 今回の教訓を風化させないように，原子力の重要性や地域社会の視点から，毎年6月3日を安全文化の大切さを全社で確認する「原子力安全文化の日」と制定（2010.6.3）
 - <活動状況> 2019年度：社長メッセージの発信，安全文化意識の共有
- 福島支援派遣者座談会を開催し，社内報等により全社で共有（2011.11.28）
- 社外有識者を中心に構成する「原子力安全文化有識者会議」を設置（2010.6.29）
 - <活動状況> 2019年度：計画中
 - <参考>2010年度：4回実施，2011年度：2回実施，2012年度：2回実施，2013年度：2回実施，2014年度：2回実施，2015年度：3回実施，2016年度：2回実施，2017年度：2回実施，2018年度：2回実施

組織・風土

「報告する文化」，「常に問いかける姿勢」が組織として不足していた。